

成功への道筋が見えてくる！
かがわの産業界の今をお届けする

かがわ 産業情報 21

Kagawa Industry Information 21

10
2023
vol.90



理事長が行く 「第30回 芦原科学賞」

芦原科学大賞 受賞者インタビュー



特集1

知財戦略を考えるきっかけに
INPIT香川県知財総合支援窓口

特集2

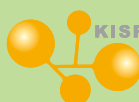
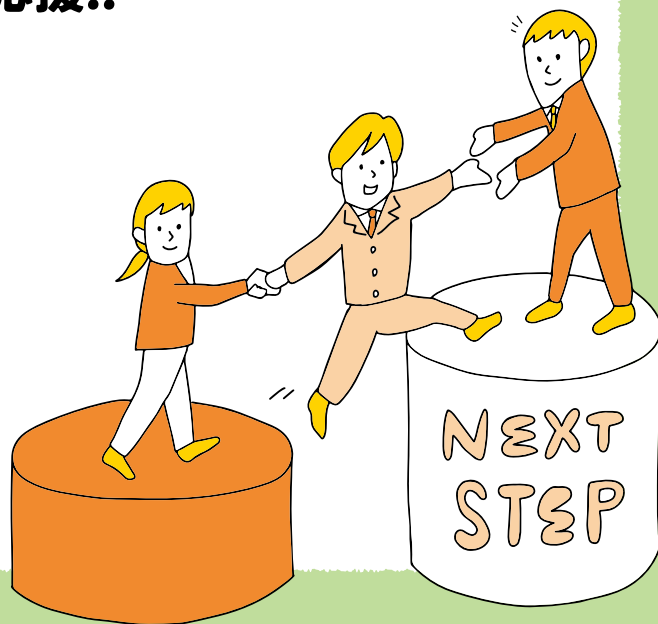
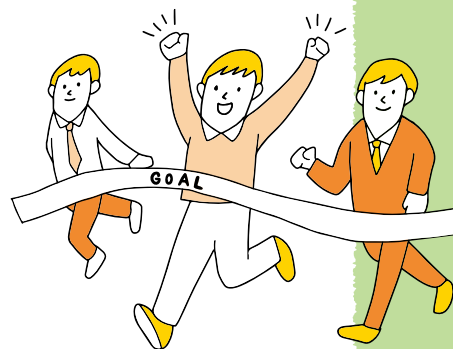
香川県で起業する人を応援!!



かがわ登!元気創出企業

「株式会社 未来機械」

生み出しているのはこれまでなかった“未来機械”
人々の助けとなるロボットで社会の課題を解決する



公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



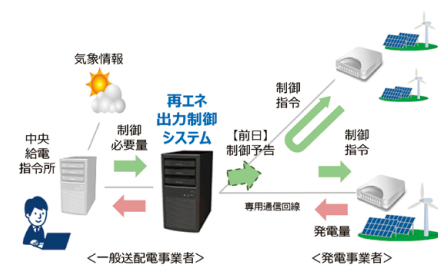
第30回 芦原科学賞 芦原科学大賞 受賞者インタビュー

「第30回 芦原科学賞」で大賞を受賞(テーマ:電力の安定供給と再生可能エネルギー電源導入拡大に貢献する再エネ出力制御システム(需給制御システム)の開発)された四国計測工業株式会社の平尾課長、村尾課長、大野副長、横山副長、横田主任、推薦者の寺井社長を訪ね、近藤理事長が開発までの苦労話やこれからの抱負、展望などについてお聞きしました。



四国計測工業株式会社(仲多度郡多度津町)

1951年に電力メーターの修理調整を行う会社として設立以来、電力分野では、発電所や電力輸送関連のシステム装置の設計、製造、施工、保守サービスなどを通じて電力の安定供給を支えています。また、一般向け分野では、AI・IoT・DXなどのデジタル技術やマイクロ波、パイオ関連技術に応用した製品開発、海外を含めた新たな販路開拓、カーボンニュートラル関連設備工事の提案活動などに取り組んでいます。



▲再エネ出力制御システムの概要

はじめに

理事長: この度は、芦原科学大賞の受賞、誠にありがとうございます。早速ですが、受賞された感想やお気持ちをお聞かせください。

平尾課長: 非常に荣誉ある賞をいただき大変うれしく思っています。対外的に我々の開発が評価され、関係者全員の士気が高まりました。今回の受賞を励みによりよい製品開発ができるよう更に研鑽に努めていきたいと思います。

大野副長: 小学校の同級生などたくさんの方から、新聞やテレビで見たと連絡をいただき反響の大きさに驚いています。

村尾課長: 再エネ出力制御に長年携わってきて、荣誉ある芦原科学大賞という形で評価されて大変うれしく思っています。受賞を励みに今後も皆様のお役に立てるシステムを開発していきたいと思います。

横山副長: ソフト面の開発を担当してきて、これまでお客様から感謝されるこ

とはあっても、こういった賞の受賞は初めてだったので非常にうれしく思っています。

横田主任: これまで、会社内やお客様から評価されることはあっても社外から評価されることはなかったので大変ありがたく思っています。また、ニュース等で取り上げられ子供もかじりついて見るなど、家族にもアピールできました。

寺井社長: お取引先などからお祝いを言ってもらうなど大賞をいただいて本当に良かったと思います。システム開発など我々の仕事は中身が見えないところもありますが、今回の受賞で認知も広がり、非常に喜んでいます。

技術開発のきっかけ

理事長: 今回の技術開発に当たってのきっかけや経緯についてお聞かせください。また、全国の電力会社10社のうち7社に採用されていますが、ライバル

CONTENTS

2023年10月 vol.90 発行(年4回発行)

かがわ産業情報 21 ⑩

TOP NEWS

理事長が行く 第30回 芦原科学賞 芦原科学大賞 受賞者インタビュー・・・1・2

時評1

知財戦略を考えるきっかけに INPIT香川県知財総合支援窓口

- ① 自社オリジナルキャンピングカーのブランド化から販路拡大へ・・・3
- ② 自社ブランド「LIME」「A-LOOK」を確立しOEMからの脱却を目指す・・・4
- ③ 創業しての商品開発から販路拡大までをトータル支援・・・4

時評2

香川県で起業する人を応援!!

- ① 県内スタートアップ ～きらりと輝く起業家たち～・・・5・6
- ② 令和5年度 かがわ創業塾を開講・・・6
- ③ 香川県スタートアップスクエア事業 入居者の募集・・・7

支援事例紹介

香川県よろず支援拠点での支援事例の紹介・・・7
機能性表示食品届出支援事例の紹介・・・8

財団の活動

第28回 機械要素技術展に出展・・・8
令和5年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)に採択
～株式会社レクザム・PGV株式会社・国立大学法人大阪大学が共同研究を実施～・・・8

財団からのお知らせ

香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール公開講座
地域の中小企業と経済活性化 受講者の募集・・・9
令和5年度 高度産業人材育成事業(IT研修) 参加者の募集・・・10
知財マッチングinかがわ 2023 参加者の募集・・・10
令和5年度 関西・四国合同広域商談会 受注企業の募集・・・11
下請かけこみ寺事業の紹介・・・11
かがわ糖質バイオフィーラム第15回シンポジウム 参加者の募集・・・12
微細構造デバイス研究開発フォーラム
令和5年度セミナー 参加者の募集・・・12
新かがわ中小企業応援ファンド等事業
Made in かがわ 新商品展示販売会2023の開催・・・12

かがわ登/元気創出企業

生み出しているのはこれまでなかった“未来機械”
人々の助けとなるロボットで社会の課題を解決する
株式会社 未来機械・・・13

会社がいる中で7社に採用されたのはどういった理由でしょうか。

平尾課長：2016年頃から開発を始め、太陽光発電が年々増えていく中、将来こういうシステムが必要になるだろうと予測して社内でも下準備や検討を進めてきました。また、2018年に九州で最初の再エネ出力制御が行われたことで全国の電力会社でも導入の機運が高まってきました。当社は、大手に比べると短納期かつ低コストで開発でき、また電力系統にも精通することから保守サービスなどの面でも小回りもきくところが評価されたと考えます。

開発時の苦労話

理事長：開発に当たり、苦労された点や大変だった点をお聞かせください。

横田主任：インターネットからシステムへ制御をかける必要があるため、セキュリティ対策など信頼性の高いシステム作りはかなり苦労しました。

横山副長：一般事業者から30分以内に10～30万台のアクセスが一気に来るため、対応できるシステム作りはかなり苦労しました。

仕事のやりがいや喜び

理事長：仕事を通して、やりがいや喜びを感じるのはどのようなときでしょうか。

平尾課長：メンバーがプロジェクトを完遂してお客様から感謝されたときの笑顔を見るのが好きで、また部下がよい経験をしてレベルアップ・成長したときに、非常にうれしくやりがいを感じます。

大野副長：本システムは7社に納めており、その都度メディアに取り上げられ、周りの人から「すごい！」と声をかけていただきました。そういうときに、自分の仕事が役に立っていると感じます。

村尾課長：納めたシステムがトラブルなく正常に動作したときが一番うれしく思います。

横山副長：ソフトを制作する際に先を見越して取り入れていた機能が、あとから実際に必要となったときにうれしく思います。

横田主任：各社のでんき予報において使用電力量のカーブが下がり、納めたシステムが正常に動作したことがわかったときに安定供給に貢献できた喜びを感じます。

財団への期待

理事長：芦原科学賞は県内の優れた取り組みをしている企業に光を当て、更に頑張ろうと思っていられるように実施しています。その他にも、当財団では中小企業の人材育成、資金繰り、知財関係、労働問題など、幅広く支援しておりますが、今後、財団に期待されることなどありましたら聞かせください。

寺井社長：このような名誉ある賞をいただくことは、ものづくり企業としては非常に励みになるのでありがたいと思います。また、財団は幅広く中小企業を支援されて頼りがいのある存在になっており、地域全体の産業のベースアップに貢献していると感じます。足りない技術や経験の少ない分野で連携させていただくのは非常にありがたいです。

理事長：当財団では、展示会出展支援や、事業承継の悩み相談、大手企業とのマッチングなどの企業支援も行っておりますので、今後も是非ご活用ください。

今後の抱負や展望

理事長：今後の抱負や展望などについてお聞かせください。

平尾課長：現在NEDOの事業に参画し、最新技術を入手して再エネ制御システムの利用価値向上を図る取り組みを進めており、今後も本事業を拡大して

いきたいと考えています。また、明るく楽しく心地よい未来の実現を通じて香川の産業技術の発展に貢献したいと考えます。

寺井社長：引き続き電力の安定供給に貢献することはもちろん、ここ数年はバイオ関連技術やAI・IoT、省力化・省エネなどへ重点的に取り組んでいくことにしています。

理事長：今日は素晴らしいお話をありがとうございました。これからも新たな技術開発に取り組まれ、益々発展されることを大いに期待しております。



▲芦原科学賞贈呈式の大賞受賞者記念写真
(左から寺井社長、横山副長、横田主任、村尾課長、平尾課長、大野副長)



▲懇談風景



▲インタビューを終えて記念撮影
(左から大野副長、横山副長、寺井社長、近藤理事長、平尾課長、村尾課長、横田主任)

知財戦略を考えるきっかけに INPIT香川県知財総合支援窓口

知的財産(知財)には、企業で生み出された発明やノウハウ、ネーミング、著作物などがあり、その価値を最大化するのが「知財戦略」の目標です。

知財戦略を持たなければ、せっかく作った自社商品が模倣されたり、ブランド名やロゴマークが使用できなくなる等の様々なリスクがあります。知財戦略を考えることは、競合他社に差別化をはかり競争に勝ち、生き残るために必要です。

香川県知財総合支援窓口では知財戦略を考えるお手伝いをしています。今回、支援窓口を利用していただいた3社について御紹介します。

INPIT香川県知財総合支援窓口では、中小企業等が抱える様々な課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図ります。また、より専門的で高度な支援が必要な相談には、弁理士、弁護士等の専門家や支援機関と連携し、協働して支援を行います。

開設時間

毎週 月曜日から金曜日(祝祭日、年末年始を除く) 8:30~12:00 13:00~17:15
TEL.087-802-3650 FAX.087-867-9365 e-mail:chizai-madoguchi@kagawa-isf.jp

① 自社オリジナルキャンピングカーのブランド化から販路拡大へ

株式会社 岡モータース (高松市勅使町630)

HP:<https://www.okamotors.co.jp/>

事業内容

創業当初は自動車販売を主な事業としていました。2004年にキャンピングカー部門を設立して以降キャンピングカーの販売に軸を移し、今では国内外のキャンピングカーを常時50台ほど展示販売しています。

また、自社オリジナルのキャンピングカーを自社で3D設計・製造しており、技能実習生ではなく優秀なベトナム人学生を雇用することで製造能力の安定と向上を図っています。

相談のきっかけ

自社オリジナルのキャンピングカー「ミニチュアクルーズ」の商品名と企業ロゴ「OMP」のブランド化のため、商標登録をしようと思いINPIT総合支援窓口にご相談しました。

相談する中で、開発中のイージー・コンフォート・ベッドキットについても、特許を取っていただいた方がいいとアドバイスをいただき、特許出願を行い、特許権を取得することができました。

知財を取得してどうだったか

権利取得できたことで、ミニチュアクルーズやイージー・コンフォート・ベッドキットを安心して拡販できています。ミニチュアクルーズはこれまでに1,300台ほど販売し、イージー・コンフォート・ベッドキットも好評で400セットを完売しそうです。

今後の展開

商標や特許を取得できたことは、一つの自信になりました。今回取得した特許を他の車種にも展開していく予定です。また、キャンピングカーはアイデア勝負なので、今後もいい商品を開発していきたいです。

また、今年の秋には新工場を設立し、製造能力をアップさせたいと考えています。



「イージー・コンフォート・ベッドキット」は、クッション性にもこだわり、3段階の高さ調整や、左右の高さも変えることができる。



自社オリジナルのキャンピングカー「ミニチュアクルーズ」。自社で設計から製造まで行っている。

Miniature Cruise
ミニチュアクルーズ

商標:ミニチュアクルーズ



OKA MOTORS PRODUCE

商標:OMP

② 自社ブランド「LIME」「A-LOOK」を確立しOEMからの脱却を目指す

エールック株式会社 (東かがわ市川東823)

HP:<https://a-look.jp>

事業内容

1933年に創業し、主に防寒手袋を製造してきましたが、その後、バッグなどの革製品の製造にシフトしてきました。熟練の職人の手により製造工程全てを一貫して自社で行う技術力を強みに、国内外の様々な革製品ブランドのOEM製造を担ってきましたが、OEM製造の限界を感じ、自社ブランド商品の企画・販売に注力しています。

相談のきっかけ

自社ブランド1つめの「LIME」をブランド化する際に、他社に真似されないようにするため、商標権について相談したのがきっかけです。その後も、縫製用の革をオリーブオイルで加工する手法で新たにオリブレザーを開発し、ブランド化する際にも相談させてもらっていたので、今回も商標権について相談させてもらいました。革製品を指定商品として「Olive leather」、オリブレザー専用のクリームを指定商品として「OLIVE LEATHER CREAM」、屋号として「A-LOOK」の商標権を取得することができました。

知財を取得してどうだったか

現在では、自社ブランドの「LIME」と「A-LOOK」(Olive leatherを使用)を主軸に販売をしており、今では自社ブランドの割合が約70%にまで増えました。商標登録しているので、他社に真似されることなく、安心して販路拡大することができています。

今後の展開

デパート等で取り扱ってもらえる富裕層向けの高級ラインのブランドを検討しています。デザインはシンプルに、こだわりの革を開発し、来年の春に発表できるように準備を進めています。

今後もOEMに売上を左右されず経営していくために、自社ブランドを強化し、売上割合を増やしていきたいと考えています。



エールック商品: 右から
バックパック、長財布、クラッチバッグ



エールック商品: オリブレザー
2WAYミニボストンバッグ

③ 創業しての商品開発から販路拡大までをトータル支援

アップフーズ有限責任事業組合 (小豆郡土庄町甲5165-79)

事業内容

2019年に小豆島産のオリーブの実で作ったオリーブペーストの事業組合として創業しました。添加物を一切使用せず、オリーブの高い栄養価と鮮やかな緑色を保持したままペースト化に国内で初めて成功し、今では健康志向の食品メーカーや菓子店などへ販売し、オリーブ需要の拡大に努めています。

相談のきっかけ

オリーブをオイルや新漬けに加工する際、大きさや熟度等の選果基準を満たさないものは廃棄されてしまうという食品ロスが課題でした。その中でペースト化を思い立ち、商品化するにはどうしたらよいのか、INPIT香川県知財総合支援窓口にご相談しました。

相談する中で、食品やマーケティングの専門家にも相談してもらい、京都府の食品研究会社と連携して2020年にオリーブペーストが完成しました。あわせて、開発製造に係るノウハウを秘匿化して技術の優位性を確保することや、販売先に対する秘密保持契約や取引契約、また商品開発や業務委託などが安定的に行える仕組みや体制づくりについてもアドバイスしていただきました。

また、オリーブペーストを使った自社商品「オリーブサンボン」を商品化し、この「オリーブサンボン」の商標登録についても支援していただきました。

知財を取得してどうだったか

オリーブペースト、オリーブサンボンを商品化することができ、また販路拡大するにあたっての、契約や体制整備ができたので、安心して販路を広げていくことができます。

今後の展開

オリーブの実、オイルでの用途がメインで、オリーブの味そのものはよく知られていないため、オリーブペーストの販路開拓は難しい面がありますが、オリーブペーストを活用した商品が多く誕生してほしいと思っています。また、商標を活用してオリーブのエキスやパウダーの開発などにも取り組んでいきます。



小豆島オリーブサンボン
小豆島オリーブ公園、道の駅
源平の里むれ等で購入できる。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-802-3650

詳しくは、INPIT香川県知財総合支援窓口のホームページをご覧ください。▶ <https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/kagawa/>

香川県で起業する人を応援!!

① 県内スタートアップ ~きらりと輝く起業家たち~

瀬戸内パウダーラボ合同会社

HP:<https://www.setouchi-lab.com>

(高松市屋島中町728南棟 TEL:087-805-7444) 代表者:石野 雅俊

果物を乾燥するフリーズドライではなく、果汁を高温の気体の中に噴霧して粉にしたフルーツパウダーを製造しています。もともと和三盆干菓子を製造販売しており、それに豊島レモンの味をつけたいと考えていました。和三盆には水分を加えることができないので果汁ではなく、果汁パウダーが必要ですが、小ロットで販売しているところがなく、産地も選べなかったため、原料メーカーを創業しました。スプレードライヤーを購入し、試行錯誤を繰り返し、豊島レモン果汁のフルーツパウダー製造に成功しました。豊島レモン味の和三盆「カモメサンボン」を売り出しており、OEMで豊島レモン味のチョコレートも10月以降販売予定です。今後は、どんなものでもその産地の商品を粉末にできますと言えるように開発を進めたいです。



カモメサンボン

活用した支援、支援を受けてよかったこと

資金面などで起業に踏み切れなかったのですが、よるず支援拠点に相談し、起業等スタートアップ支援補助金のことを教えてもらいました。この補助金を受けていることで、金融機関からの資金調達もスムーズにできたことから、起業を前向きに検討できました。

これから起業する人に向けて

香川県は新しく起業する人に対して支援が手厚いと思います。補助金の交付だけでなく、伴走支援もあります。創業塾では同じ起業家との情報交換もでき、起業の不安を解消できました。



60's a GoGo(シックスティーズ ア ゴーゴー)

HP:<https://www.jacqueline60.com>

(高松市番町1丁目5-1 四番丁スクエア) 代表者:増谷 憲政

レトロデザインのワンピースを企画・製造し、独自通販サイトで販売しています。既存のアパレルメーカーではあまり取り扱わない、希少性の高い生地を集め、50代、60代をターゲットに小規模で販売を始めました。宣伝のためにYouTubeの方々にワンピースを紹介してもらったら、アクセスが増えて売上が伸びました。他のインフルエンサーの方にもアプローチしたいと考えています。ノースリーブのワンピースの型が1種類なので、夏の売上がほとんど。今後は、日本が秋・冬の時期に夏のオーストラリアや赤道近くの国で販売できるように準備しています。年間を通じて販売できる体制をどう作るか、どうすれば、広くお客さんに知っていただけるか、自己資金でお金をかけず工夫してやっていきたいです。



レトロデザインワンピース

活用した支援、支援を受けてよかったこと

起業等スタートアップ支援補助金を活用し、初期投資の負担軽減になりました。定年後に起業する立場として、リスクは少なくなかった。ただ、初めてのことで補助金のしくみも分からず、すべてを有効に活用できなかったと思います。補助金を最大限に活かして使えたら効果が大いだと思います。

これから起業する人に向けて

起業というハードルは高いと思うけど、自由に仕事をするというのは夢だと思います。補助金などを活用しながら工夫すると起業できると思います。私もこの補助金をきっかけに国や市からも補助金をもらいながら事業を続けています。



県内で起業を目指している人を応援するために様々な支援をしています。
支援を使って創業した先輩方や、これから起業するために学んでいる方を紹介します。

The Brick(ザ ブリック)

Instagram: https://www.instagram.com/the_brick_marugame/

(丸亀市塩飽町19-5 駅前通り京都ビル102号 TEL:0877-88-8058) 代表者:政井 健助

丸亀には老舗のオーセンティックなバーが多い中で、18世紀の英国をテーマに、内装も凝ったものにし、カクテルを中心に提供する丸亀には今までになかった雰囲気のバーを作りました。4年半バーで修行した後、開店資金を貯めるため、県外で契約社員として働きながら、補助金などを探していたところ、知人から起業等スタートアップ支援補助金を教えてもらいました。この補助金のおかげで、コロナ禍での開業でしたが、新しいカクテルなどの商品開発を行う金銭的余裕ができました。それもある、コロナの間に少しずつお客様の認知度を高め、コロナ明けからお客様が増えたと思っています。参考になっている海外や東京などのバーがあり、業界のトレンドをおさえたお店作りを心掛け、丸亀のバー文化が盛り上がるのに一役買うことができたらと思っています。



英国をテーマにした店内

活用した支援、支援を受けてよかったこと

起業等スタートアップ支援補助金を申請する時、伴走支援員に相談しながら、事業計画を作成できたので、より開業のビジョンが明確になったのが良かったです。

これから起業する人に向けて

周りの人から、バーのような夜のお店で補助金をもらうのは難しいと聞いていました。この補助金の採択を受けたことで、どんな業種であっても、きちんと準備をしていけば、自分の事業が認められるという自信になりました。



② 令和5年度 かがわ創業塾を開講

県内での創業を支援するため、昨年度に引き続き、令和5年度「かがわ創業塾」を開講しました。

今年も、合計5日間(7/28、8/4、8/18、8/25、9/1)、創業に必要な基礎知識やノウハウなどを、それぞれのテーマで、講師の方々に講演いただき、最終日には、創業計画書を実際に作成しました。

講演を聴講した塾生からの感想

「具体的な作業を通じて、創業イメージを深堀りできてよかった。」
「どのような顧客にどのようなサービスを提供したいか考える機会になった。」

創業計画書策定演習後の感想

「他の方の創業計画が聞けたり、自分では気づかなかったアドバイスをもらえて参考になった。」
「自分が考えていた事業に対し、色々な角度から意見を頂き、再考するきっかけとなった。」

本塾は、平成27年度から毎年開講しており、今年度参加の31名を含め、述べ350名の方が受講しています。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

③ 香川県スタートアップスクエア事業 入居者の募集

香川県では、地域経済を牽引するようなスタートアップを創出し、起業地としての香川の魅力をより一層強化するため、令和5年度新規事業「香川県スタートアップスクエア事業」において、香川インテリジェントパークを県内起業家の集積地とすることを目指しています。ついては、創業5年以内で創業支援塾等※を過去3年以内に修了している事業者等が、令和5年4月以降に以下に記載するオフィスに新たに入居する場合は、1年間使用料を90%減額（入居者1/10負担）しますので、是非、ご活用ください。

※創業支援塾等とは、公益財団法人かがわ産業支援財団（以下「財団」という。）が実施する創業支援塾、香川県よろず支援拠点主催の創業セミナー（創業支援塾と同等のものとして財団が認めるもの）又は産業競争力強化法（平成25年法律第98号）第2条第31項に規定する特定創業支援等事業として実施される創業塾、創業セミナー等を指します。

ネクスト香川	FROM香川	香川産業頭脳化センタービル
募集 3室	募集 3室	募集 4室
一般型インキュベート工房 新技術や新製品の開発を目指す企業や新規創業される方に最適なスペースを提供する県有施設 入居資格： 創業5年以内かつ創業又は新事業の開拓を目的として新技術等の研究開発を行う者 入居期間： 3年間（最長13年間） 部屋数： 10室（約64～137㎡） 賃料： 1,560円/㎡・月（1年間は1/10） 光熱費： 実費 無料駐車場： 部屋の大きさにより2～4台	一般研究室a及びb 産学官の連携による科学技術に関する共同研究を促進するための拠点としてスペースを提供する県有施設 入居資格： 創業5年以内かつ基礎研究の成果を実用化するための研究開発を行う事業者 入居期間： 3年間（最長10年間） 部屋数： 一般研究室は15室（各室約50㎡） 賃料： 2,610円/㎡・月（1年間は1/10） 光熱費： 実費 無料駐車場： あり（共用）	ITスクエア ITを活用した事業の創業、新分野進出、新サービスや新製品の研究開発などに取り組むためのモデルオフィス 入居資格： 創業5年以内でITを活用する者 入居期間： 1年間（最長10年間） 部屋数： 11室（約6.5㎡） 賃料： 20,950円/室・月（1年間は1/10） 学生は15,710円/室・月（同上） 共益費： 賃料に含む その他： インターネット無料接続 無料駐車場： 1台

*各施設とも、入居希望月の前月上旬までにプレゼンテーションを伴う入居審査により入居を決定します

申込みに関するお問い合わせ先

各施設に関するお問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710
 公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 施設管理課
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F TEL.087-869-3700 FAX.087-869-3703

支援事例紹介

香川県よろず支援拠点での支援事例の紹介

テーマ 高付加価値加工機の導入による事業再構築への取組

相談者 株式会社 榊紙店 取締役総務部長 谷口正行 様
 香川県高松市朝日町5丁目3-81 TEL.087-822-3332

相談者コメント デジタル化によるペーパーレス志向の高まり、さらに新型コロナウイルスの影響で、テレワークが日常化し、コピー用紙などの洋紙需要の著しい減少を招きました。この急変した状況に対し、紙加工業への進出を図るため、助言を受けました。毎月の経営幹部会議に出席頂き、計画の進捗への意識が浸透してきました。事業再構築補助金を活用し、高付加価値化に向けた加工事業は、始まったばかりですが、業務の見える化を通じた新しい組織作りに向け、多くのアドバイスを頂いています。

支援のポイント SWOT分析や3C分析、アンゾフの成長戦略等のフレームワークを紹介し、多面的な視点で、新分野の事業性を評価する支援を行いました。
 ①新分野への展開が、既存取引先と競合しないか。
 ②加工機性能の優位性はあるか。技術的な問題は解決できるか。
 ③強みである流通網を活用できるか。
 3つの観点より実現可能性を問う質問を投げかけ、投資効果についても社内ですら十分に話し合い、新分野の実施担当者の選出や役割について検討しました。
 一定規模の会社組織を有しているため、業務の見える化に向けた事例を多く紹介し、事業者主体で検討する事を促す自走支援を心がけています。

成果・現況 加工機の導入と価格転嫁交渉の実現により、事業再構築に向けた大きな一歩を踏み出しています。



香川県よろず支援拠点Facebook

ぜひフォロー、「いいね!」をお願いします。



お問い合わせ先

香川県よろず支援拠点
 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-6090 FAX.087-869-3710 E-mail.yorozu@kagawa-isf.jp

機能性表示食品届出支援事例の紹介

有限会社今屋老舗(観音寺市)はエピガロカテキンガラート(EGCG)の機能性に注目して開発した「抑糖番茶」を機能性表示食品として消費者庁に届出を行い、このたび、下記の内容で届出が完了し機能性表示食品として製造販売されています。

これまでに、機能性表示食品としては全国で約7,400件の商品が受理されていますが、県内企業の届出商品は今回の商品を含めて40件となりました。うち23件は当財団が支援しました。

商品名	抑糖番茶	機能性内容	食後の血糖値の上昇をおだやかにする。
事業者名	有限会社今屋老舗	1日摂取目安量	水1ℓに茶葉30gを入れ、冷蔵庫で8時間後の浸出液500mlを食事とともに摂取する。
届出口	令和5年4月6日	販売開始	令和5年8月1日
機能性関与成分	エピガロカテキンガラート(EGCG)		



お問い合わせ先

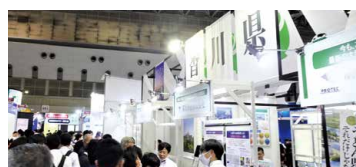
公益財団法人かがわ産業支援財団 地域共同研究部 研究開発課
高松市林町2217-43 RISTかがわ1F TEL.087-869-3440 FAX.087-869-3441

財団の活動報告

第28回 機械要素技術展に出展

香川県の主要な産業である、ものづくり基盤技術産業の振興を図り、成長分野等(エネルギー・環境関連、ロボット関連、自動車関連など)への進出を支援する取組みとして、日本最大級の専門技術展「第28回 機械要素技術展」(東京ビッグサイト)に、香川県ブースを出展しました。

会期	令和5年6月21日(水)~23日(金)
会場	東京ビッグサイト(東京都江東区)
来場者数	約6万7千人(同時開催展来場者を含む)
主催	RX Japan(株)
展示会概要	軸受、ベアリング、ねじなど機械要素や金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた日本最大級の専門技術展



▲技術展の様子

【出展者】

出展企業	所在地	出展物等
(株)コヤマ・システム	高松市	・工場探偵シリーズ(高速カメラ探偵、可動率探偵等)
サンコー(株)	高松市	・LOCK ONE ・モーションタイト等
(株)シーマイクロ	高松市	・体積算出、寸法測定3Dカメラを用いた自社開発の検査装置ソリューション
高木綱業(株)	高松市	・高機能繊維ロープ・高強度型絶縁ロープ・変形コーティングロープ・複合化超高分子量ポリエチレンロープ・静電気除去ロープ等
高松帝酸(株)	高松市	・フッ素ガス表面処理品・フッ素ガス表面処理技術・繊維強化プラスチック材料接着前処理技術等
(株)長峰製作所	まんのう町	・金属多孔質体・精密セラミック製品・ハニカム触媒、吸着材等
(株)ハガタ屋	東かがわ市	・試験片打抜刃・ハンドプレス・その他火造り鍛造抜型等
バリオスター(株)	高松市	・トルク管理電動ドライバー・リチウムイオン蓄電池モジュール等
(株)プロテック	高松市	・高精度機械加工部品(半導体製造装置関連、航空機関連)等
明興産業(株)	丸亀市	・各種樹脂(主に熱硬化性樹脂)の機械加工品、サンプル品等

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

令和5年度 成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)に採択

～株式会社レクザム・PGV株式会社・国立大学法人大阪大学が共同研究を実施～

令和5年度Go-Tech事業の公募は、2月22日から4月20日まで実施され、当財団が事業管理機関として申請した1件が採択されました。全国では160件(通常枠)の申請があった中から80件(四国からは2件)が採択されました。

研究開発テーマ

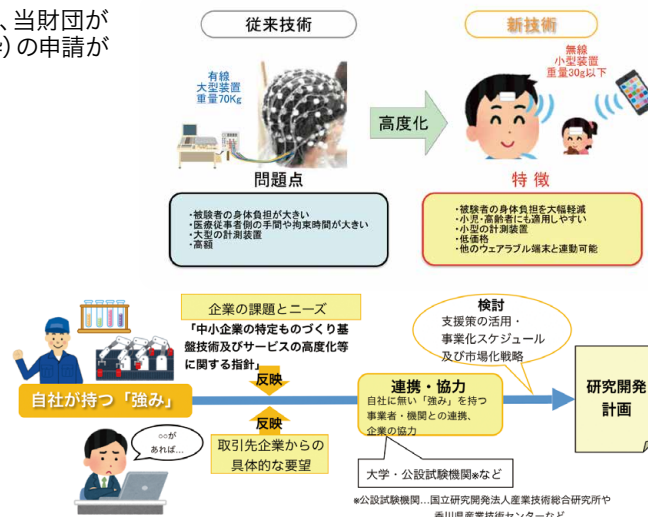
「脳波とバイタルサインの無線同期計測により脳波活用を革新するウェアラブル脳波計測技術の開発」

研究開発の概要

従来の有線接続の脳波計測機は、被験者の長時間の身体的負担が大きいことなど多くの課題があります。そこで、株式会社レクザム・PGV株式会社・国立大学法人大阪大学産業科学研究所で構成する共同研究体は、3者の強みを組み合わせ、「高精度な無線協働ウェアラブル脳波計測機」を開発することでこの課題を解決します。

【成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)とは】

中小企業等が持つ強みを活かし、研究機関と共同で実施する取引先企業と社会ニーズの高い研究開発を最大3年度支援する事業です(経済産業省管轄)。補助金額は、3年度の合計で、9,750万円以下です。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 研究開発支援課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

香川大学大学院地域マネジメント研究科ビジネススクール公開講座 地域の中小企業と経済活性化 受講者の募集

公益財団法人かがわ産業支援財団と香川大学大学院地域マネジメント研究科は、地域を担う若手人材を育成することを目的に、企業経営等の第一線で活躍している講師による公開講座「地域の中小企業と経済活性化」を開講します。事前申込みによりどなたでも受講できますので、皆様の御参加をお待ちしております。

- 日時** 講座概要一覧のとおり
- 時間** 18:20～19:50(90分間)
- 場所** 香川大学 幸町南キャンパス
総合教育棟(DRI棟)1F・第11講義室(高松市幸町2-1)
※開催場所の講義室が変更になる場合があります。
- 開催形態** 公開講座(地域マネジメント研究科の学生に加えて、一般公募の申込によりどなたでも受講できます。)
※定員50名
- 受講料** 無料
- 申込方法** 香川大学大学院地域マネジメント研究科
HPからお申込みください。
- 申込先** 香川大学大学院地域マネジメント研究科
高松市幸町2-1
TEL:087-832-1955 FAX:087-832-1900
(祝祭日、大学の休校日を除く平日12:00～18:00)
MAIL:contact-b@kagawa-u.ac.jp
HP:<http://www.gsm.kagawa-u.ac.jp/>



▲昨年度講義風景

【講座概要一覧】

	日程	講師	講義概要
第1回	令和5年10月3日(火)	公益財団法人かがわ産業支援財団 理事長 近藤 清志	地域活性化の政策と実践
第2回	令和5年10月10日(火)	株式会社サンテック 代表取締役社長 青木 大海 氏	多様性と柔軟性で挑むグローバル企業への道(仮題)
第3回	令和5年10月17日(火)	香川県酒造組合 会長 川人 裕一郎 氏	「讃岐の酒蔵」の今とこれから
第4回	令和5年10月24日(火)	琴平バス株式会社 代表取締役 楠木 泰二郎 氏	地域の中小企業と地域活性化 ～「事業者連携」「民間創意」で持続可能な琴平を創る～
第5回	令和5年11月7日(火)	一般社団法人希少糖普及協会 代表理事 早川 茂 氏	希少糖の産学官連携事業から商業展開への道のり
第6回	令和5年11月14日(火)	タケサン株式会社 代表取締役 社長 武部 興征 氏	生き続けるために、時代に合わせて変化する
第7回	令和5年11月21日(火)	高木綱業株式会社 代表取締役社長 高木 敏光 氏	製造業から課題解決業への変化
第8回	令和5年11月28日(火)	株式会社ダイコプロダクト 代表取締役社長 川北 康伸 氏	「ものづくり企業」の希望と課題
第9回	令和5年12月5日(火)	建口ボテック株式会社 代表取締役社長兼CEO 眞部 達也 氏	世界を変える挑戦の始める方法と続ける方法
第10回	令和5年12月12日(火)	株式会社富士クリーン 代表取締役社長 馬場 太郎 氏	地域企業の役割とその先にあるビジョン
第11回	令和5年12月19日(火)	特定非営利活動法人しおのえ 代表理事 藪内 由佳 氏	「ここに住みたい!!」とを感じる場所作り
第12回	令和6年1月16日(火)	株式会社日本ドルフィンセンター 代表取締役 寺山 弘樹 氏	『イルカと共に人生をより良くする』を本気で考えた地方の弱小企業の20年間の歩みと今後の挑戦
第13回	令和6年1月23日(火)	株式会社石垣 取締役 石垣 真一郎 氏	Ishigakiビジネスイノベーション
第14回	令和6年1月30日(火)	株式会社オリーブ園 代表取締役社長 永井 順也 氏	100年の歩みと次の100年に向けて ～五感で感じるオリーブ観光農園～
第15回	令和6年2月6日(火)	高松帝酸株式会社 代表取締役社長 太田 貴也 氏	Military Science(軍事学)からみる 企業経営

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

令和5年度 高度産業人材育成事業(IT研修) 参加者の募集

「新かがわ中小企業応援ファンド等事業」として、地域産業の技術の高度化を支援するため、高度産業人材育成事業(IT研修)を実施しています。現在、次の3コースを募集中です。皆様の御参加をお待ちしております。

コース名	定員	研修概要	受講料 円(税込)	受講対象者	日時	会場
プロジェクトマネジメント演習	15	事例や演習を通じて、プロジェクトマネジメントに必要なコンピテンシー(成果を上げる行動特性)を体験的に学びます。	7,150	・プロジェクトメンバー、プロジェクトリーダーなどプロジェクトに関わる方 ・プロジェクトと協働される方	10/25~27 9:00~17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
Unityによる 実写VRコンテンツ制作講座	15	エンタメやメタバース、産業応用など幅広い分野で注目されているVR。本研修では、その概要と産業分野を中心とした導入事例を紹介するとともに、実写を用いたVRコンテンツの制作方法についてUnityによるプログラミング実習を交えて説明します。	4,950	・何らかの言語でプログラミング経験があり、UnityでのVRコンテンツ制作に関心がある方 ※パソコンの持ち込みが必要(Unityを導入します)	11/9.10 9:00~17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室
演習を通して学ぶ、 デザイン思考・アート思考	15	「デザイン」や「アート」という概念は、ビジネスやエンジニアリングなど、あらゆる領域で応用され、企業でも導入するケースが増加しています。このワークショップでは、「デザイン思考」や「アート思考」とは何か、どのような手法とプロセスがあるのか、また問題の種類によって適した活用方法などを、実例を通して紹介します。また同時に、鉛筆スケッチなど実際に手を動かす演習を通して、誰もが持っている感性を引き出す訓練を行う。左脳(論理性)と右脳(感性)の両方をバランス良く活用した思考スタイルを身につけ、課題を独自の視点で見出し創造的に解決する力を身につけます。	4,950	興味のある方全て	12/25.26 9:00~17:00	香川産業頭脳化センタービル 専門研修室

申込方法 お申込み期限は、受講開始日の2週間前までです。
受講申込書に必要事項を御記入のうえ、FAX、E-mail(kikaku@kagawa-isf.jp)、郵送又は窓口持参にてお申込みください。
受講申込書は、当財団ホームページ(<https://www.kagawa-isf.jp/support/jinzai/advanced/>)から、ダウンロードできます。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710

知財マッチングinかがわ 2023 参加者の募集

大企業等が保有する開放特許を活用して県内企業の新商品開発や新たな事業展開を図るため、「知財マッチングinかがわ2023」を開催し、大企業等との知財マッチングの機会を提供します。

より多くの面談を実施するため、11月17日(金)から12月20日(水)までの期間においても、個別に日程調整し面談を実施することが可能です。
申込書及びシーズ一覧は2次元コードからご覧ください。

日 時 令和5年11月16日(木) 10:00~16:00
面談期間 令和5年11月17日(金)~12月20日(水)までの期間
会 場 香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室 他

申込書



シーズ一覧



【シーズ提供企業等】

★今年度新たにシーズ提供頂いた企業

【一般企業】

○株式会社イトーキ
○一般財団法人NHK財団
★トヨタ自動車株式会社
○日産自動車株式会社
○株式会社野村総合研究所(NRI)
○パナソニックIPマネジメント株式会社
○富士通株式会社

○本田技研工業株式会社
○株式会社リコー
○関西電力株式会社
○九州電力株式会社
○中部電力株式会社
★四国計測工業株式会社
○株式会社四国総合研究所

【食品関連企業】

○株式会社レアスウィート

【公設試験研究所等】

○(国研)産業技術総合研究所(AIST)
○国立大学法人徳島大学
○国立高等専門学校機構香川高等専門学校

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 知的財産支援部 知的財産普及課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-869-9004 FAX.087-867-9365

令和5年度 関西・四国合同広域商談会 受注企業の募集

関西・四国・鳥取県の11府県合同で開催する「関西・四国合同広域商談会」に参加を希望する受注企業を募集します。
(10月中旬から募集開始予定)

オンライン商談会

- 商談方法 WEB会議システムを活用したオンライン商談方式
- 会 期 令和6年2月1日(木)～2日(金)、5日(月)～8日(木)
- WEB会場 EventHub(オンライン商談会専用サイト)

リアル商談会

- 商談方法 対面での直接面談方式
- 会 期 令和6年2月15日(木)、16日(金)
- 会 場 京都パルスプラザ2F(京都ビジネス交流フェア2024会場内)

参加対象 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、鳥取県に拠点をもち、発注企業の求める技術に対応できる中小企業 450社程度

申込方法 公益財団法人京都産業21ホームページ内の募集ページよりお申し込みください。
https://www.ki21.jp/bp2024/godo_shodankai/



▲昨年度の様子

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

下請かけこみ寺事業の紹介

下請かけこみ寺は、下請取引の適正化を推進することを目的として国が、公益財団法人全国中小企業振興機関協会(本部)と全国47都道府県の中小企業振興機関に設置した相談機関です。中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが事業者間取引で抱える悩みについて、ご相談ください。

- 相談窓口 当財団では、企業振興部取引支援課内に『下請かけこみ寺』相談窓口を設置し、相談員が親身になって適切な助言を行うほか、必要に応じて、弁護士無料相談やADR(裁判外紛争解決手続)等の紹介を行います。相談は電話等又は直接窓口で受付けています。
- 相談日時 毎週月・火・木・金曜日 9:00～12:00、13:00～17:00(祝祭日・年末年始を除く)
- 相談連絡先 フリーダイヤル 0120-418-618
- 詳細のリンク先 <https://www.zenkyo.or.jp/kakekomi/index.htm>

中小企業 個人事業主 フリーランス

の皆さん

取引上の悩み

抱えていませんか?

下請かけこみ寺
にご相談ください!

「下請かけこみ寺」では、中小企業・個人事業主・フリーランスの皆さんが抱える取引上の悩み相談をお受けします。問題解決に向けて、専門の相談員や弁護士がアドバイスを行います。

悩んだらここに相談を!

下請かけこみ寺
相談無料 全国48か所
【受付時間】平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日・祝日・年末年始を除く) 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.0120-418-618

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課

無料相談(相談員・弁護士)

例えは...

- 支払期日を過ぎても代金を払ってくれない。
- お客さんからキャンセルされたので、部品が必要なくなったという返品された。
- 長年取引をしていた発注元から突然取引を停止された。

電話相談
電話で相談員がお話しします

オンライン相談
パソコン・スマートフォンで相談員がお話しします

対面相談
対面で相談員がお話しします

相談事例

下請かけこみ寺 相談員・弁護士 TEL.0120-418-618
【受付時間】 平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)
※0120-418-618は全国共通のフリーダイヤルです。

調停による紛争解決手続(ADR)

- 紛争当事者間の和解の調停を行います。
- 無料と異なり非公開で行われるため、当事者以外には秘密が守られます。
- 当事者が合意すれば、自由に調停場所・時間等を決めることができます。

消費税の転嫁等に係る取引上の相談にに応じています。

消費税転嫁等に関するご相談はこちら
0120-300-217
【受付時間】 平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

全都道府県に下請かけこみ寺を設置しています。

本部(公財)全国中小企業振興機関協会	03-5541-6655	(公財)ふくしま産業支援センター	0776-67-7426
(公財)北海道中小企業振興センター	011-232-2408	(公財)山形県産業支援センター	077-511-1413
(公財)宮城県産業支援センター	011-775-3234	(公財)岩手県産業支援センター	075-315-8590
(公財)秋田県産業支援センター	019-631-3822	(公財)青森県産業支援センター	06-6748-1144
(公財)山形県産業支援センター	022-225-6637	(公財)宮城県産業支援センター	078-977-9109
(公財)福島県産業支援センター	018-860-5622	(公財)茨城県産業支援センター	0742-36-8311
(公財)茨城県産業支援センター	023-947-0662	(公財)栃木県産業支援センター	073-432-3412
(公財)群馬県産業支援センター	024-525-4077	(公財)群馬県産業支援センター	086-289-9670
(公財)埼玉県産業支援センター	029-224-5318	(公財)埼玉県産業支援センター	0852-60-5114
(公財)千葉県産業支援センター	029-670-2603	(公財)千葉県産業支援センター	086-289-9670
(公財)東京都産業支援センター	027-265-5027	(公財)東京都産業支援センター	082-240-7703
(公財)東京都産業支援センター	048-647-4086	(公財)東京都産業支援センター	083-902-3722
(公財)東京都産業支援センター	043-269-2654	(公財)東京都産業支援センター	088-654-0101
(公財)東京都産業支援センター	03-3251-9390	(公財)東京都産業支援センター	087-868-9904
(公財)東京都産業支援センター	045-633-5200	(公財)東京都産業支援センター	089-960-1268
(公財)東京都産業支援センター	025-245-0056	(公財)東京都産業支援センター	088-645-6600
(公財)東京都産業支援センター	026-227-5013	(公財)東京都産業支援センター	092-260-6017
(公財)東京都産業支援センター	055-243-8037	(公財)東京都産業支援センター	0952-34-4416
(公財)東京都産業支援センター	064-273-4433	(公財)東京都産業支援センター	095-820-8836
(公財)東京都産業支援センター	052-715-3069	(公財)東京都産業支援センター	096-289-2437
(公財)東京都産業支援センター	059-277-1082	(公財)東京都産業支援センター	097-534-5300
(公財)東京都産業支援センター	059-228-7283	(公財)東京都産業支援センター	098-74-3850
(公財)東京都産業支援センター	076-444-5622	(公財)東京都産業支援センター	099-219-1274
(公財)東京都産業支援センター	076-257-1219	(公財)東京都産業支援センター	099-859-6237

相談については、上記の下請かけこみ寺において電話で受け付けています。また、ホームページから受け付けています。

下請かけこみ寺
相談無料 全国48か所
【受付時間】 平日9:00～12:00 / 13:00～17:00 (土日・祝日・年末年始を除く) 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F
TEL.0120-418-618

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

かがわ糖質バイオフォーラム第15回シンポジウム 参加者の募集

かがわ糖質バイオフォーラムでは、今年で15回目となるシンポジウムを開催します。
シンポジウムには、事前申込によりどなたでも参加できます。糖質バイオ分野に興味・御関心のある方はぜひご参加ください。

日 時 令和5年10月27日(金)13:00～16:00

場 所 かがわ国際会議場(高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー タワー棟6F)

内 容 【第1部】特別講演

演 題：ここまでできました～糖質研究から事業化に向けた取組み～

講 師：株式会社伏見製薬所 代表取締役社長 伏見 豊 氏

(株)伏見製作所の糖質研究とその成果の化粧品、医薬部外品、医薬品原料への応用、
事業化への取組みについてご講演いただきます。

【第2部】事例発表

希少糖をはじめとする糖質バイオ分野に関する商品開発事例等の発表

①(株)スミダ・リ・オリジン ②(一社)つなぎまいYO ③(株)ルーヴ
パネル等展示の観覧と交流

申込方法 下記の申込フォームからお申し込みください。

<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/kg-symposium>

申込フォーム



▲第14回シンポジウムの様子

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

微細構造デバイス研究開発フォーラム令和5年度セミナー 参加者の募集

微細構造デバイス研究開発フォーラムでは、「産学官連携による新展開」をテーマにセミナーを開催します。セミナーには、事前申込によりどなたでも参加できます。

日 時 令和5年12月4日(月)13:30～17:00

場 所 香川産業頭脳化センタービル2階 一般研修室

内 容 【講演1】

演 題：産学官連携事業を通じて得られるものは何か？～イノベーション、人材育成、人材確保～(仮題)

講 師：経済産業省四国経済産業局 地域経済部長 熊野 哲也 氏

産学官連携の潮流、国の方針や施策を官の立場からご講演いただきます。

【講演2】

演 題：香川大学における地域企業との産学官連携の好事例、その魅力

講 師：香川大学産学連携・知的財産センター センター長・教授 永富 太一 氏

大学において産学官連携をコーディネートしている立場から、産学官連携の考え方や課題を、事例を含めてご講演いただきます。

【講演3】

演 題：「マイクロデバイス分野の産学連携 ～MEMS開発、人材育成を中心とした事例紹介～」

講 師：東北大学マイクロシステム融合研究開発センター センター長・教授 戸津 健太郎 氏

マイクロデバイス分野で多くの産学連携の実績を有する講師に、
この分野における連携の進め方や課題を、事例を含めてご講演いただきます。

申込方法 下記の申込フォームからお申し込みください。

<https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/application-form>

申込フォーム



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

Made in かがわ 新商品展示販売会2023の開催

平成30年度から新かがわ中小企業応援ファンド等事業を開始し、県内の中小企業者等が行う研究開発や販路開拓等に対する支援を行っています。
この度、当事業を活用して開発した新商品・新技術のPRを目的に、丸亀町グリーンにて展示販売会を開催します。
地元企業が開発したすばらしい商品や技術を、直接見て触れて、購入できる貴重な機会となっています。ぜひお越しください。

日 時 令和5年11月3日(金・祝)11:00～17:00

場 所 丸亀町グリーン けやき広場(高松市丸亀町7-16)

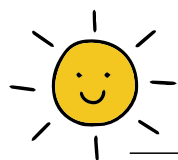
参加予定企業 販売ブース 14社、展示ブース 1社
(参加予定企業の詳細は、財団HPをご確認ください。)



▲前回(令和3年)開催時の様子

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710



かがわ発！元気創出企業

生み出しているのは これまでなかった“未来機械” 人々の助けとなるロボットで 社会の課題を解決する



香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、高松市にある「株式会社 未来機械」を訪ねました。

未来の課題をロボットテクノロジーで解決することを目指す香川大学発ベンチャー企業として、代表取締役社長の三宅徹さんが2004年、大学在学中に設立した未来機械。移動ロボット市場の創出を目的としてスタートして以来、主に太陽光パネル清掃ロボットを中心として、開発・製造・販売を行ってきた。これまで世界で初めて水を使用しない自律式清掃ロボットを開発するなど、海外市場での実績を積み重ね、世界中で注目されてきた同社だが、近年では国内向け、新たな分野でも開発・販売を行うように。常に先を見据え、まさに未来の機械を生み出し続ける同社の今後の展開について、三宅社長を取材した。

2020年からはドバイの発電所で 61台の清掃ロボットが稼働

同社は、創業以来、縁の下の力持ちとして、人々の生活や社会を支えるロボットを開発してきた。「我々が手がけているのは、人ができない作業や苦手とする作業、または危険でやるべきではない作業を代わりに行うロボットです。そういった作業こそが、ロボット化する必要があると考えています」と三宅さんは言う。同社が開発・販売する太陽光発電のソーラパネル清掃用のロボットの多くが、中東向けのロボットである。

2020年4月には、ドバイに建設された大規模発電所の運用開始に合わせ、ソーラパネル用のロボットを61台設置した。砂漠の中に建つ発電所の広さは東京ドーム約140個分。最大出力400メガワット、10万軒ほどに電気を届けることができる。だが、雨がほとんど降らず、砂が巻き上がり、温度・湿度の高い砂漠。パネルはすぐに真っ白になる。機械であるロボットも壊れやすい環境だ。「砂漠のロボットというのは、動き続けることが大切なんです。過酷な環境で使い続けることのできるロボットを開発して、製造できるのは、我々の強みですね」と三宅さん。過酷な環境下において動き続ける同社の清掃ロボットは、今やこの発電所にとって、なくてはならない存在となっている。

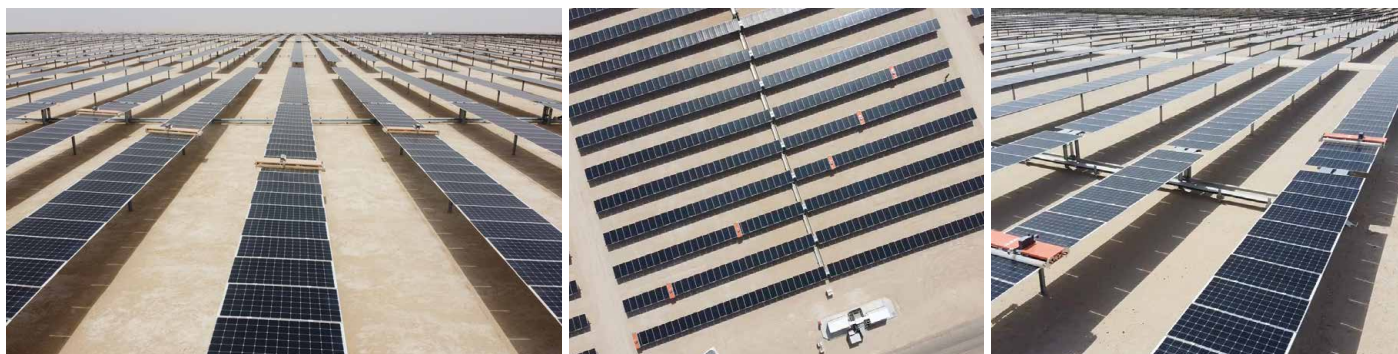


発電所では、同社が手がけた61台の清掃ロボットが1台につき夜間の8時間、毎日稼働。運用開始から3年が経過し、稼働時間は1台あたり4000時間を超えた

砂漠で培ってきた知見を活かし 屋外環境で役立つロボットを開発

海外向けの開発・製造販売がほとんどだったという同社だが、最近では国内需要も増えてきたという。国内でも再生可能エネルギーの普及が進むにつれ、中東での実績に注目し国内用の清掃ロボットもぜひ、という依頼に応え、国内向けの清掃ロボットを製品化。「中東と違って、国内市場はそんなに清掃の需要度がないだろうと思っていましたが、場所によっては非常に汚れやすい。そういった場所は、これまで手作業で洗浄されていたんです」。中東向けに水を使わずにキレイに清掃するロボットを開発してきたが、日本の場合は雨でもキレイにならないようなこびりついた汚れの清掃がメイン。そこで水を使ってキレイに洗浄できるものへと改良した。

また、過酷な屋外で動き続けることができるのであれば埃にも強いはず、と、建設現場での作業ロボットの依頼もあるという。今後は、建設分野で活躍できるロボットをラインナップする予定だという、また、同じく環境が厳しい畜産分野でも開発が望まれているそうだ。「担い手が減り省力化が必要な分野も多い。DX化を考えるスタートアップとコラボレーションするなど、外部とコラボレーションしながら事業を進めていければ」と三宅さんは語る。



未来機械のロボットが稼働するドバイの「ムハンマド・ビン・ラーシド・アル・マクトゥーム・ソーラーパーク (MBRソーラーパーク)」

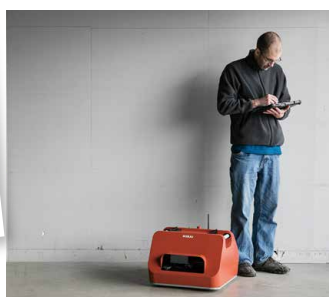


国内向けのソーラーパネル清掃ロボット

中東地域においては、ソーラーパネルの砂塵汚れの有無により1か月間で約15%も出力量が変わるという



畜産分野において飼育する動物の個体管理を可能にするロボット



建設現場での位置出し作業を行う墨出しロボット



20代から70代までの人材を登用 未来のために試行錯誤し続ける

「ロボット技術は、機械やソフト、センサーをうまく組み合わせて、目的にかなう働きをしてくれるもの生み出すことが重要。その中でも我々は、まだ誰も見たことがない新しいロボットをつくることを得意としています」と微笑む三宅さん。その理由を「まずは必ず現場に行き“作業をデザイン”するからです。現状を把握した上で、どう自動化をすればいいかを現場で確認します」。機械が得意な部分を機械化しつつも、人が関わる方が効率的な部分は残しながら最適な機械をデザインしていく。それができるのは、未来機械というチームだからだ。

大学院を出たばかりの新卒の研究者から60代以上70代までのベテラン技術者までの幅広い人材を有する同社。経験を持った人材と新しいソフトウェアや制御を知る人材、両方が新しいロボットを生み出すのには欠かせないと三宅さんはいう。理念に共感してくれさえすれば人種も年齢も問わないという姿勢が、優秀なエンジニアが集まる理由だ。「ここまでAIが進化した現在でも、新しいハードウェアをつくるのは人間が試行錯誤しなきゃいけない領域です」。これまでにない“未来の機械”をつくるために、彼らは今日もまた、現場に向き、アイデアを出し、手を動かし続ける。



ゼロからモノづくりをしたいというマインドの人材が、全国はもちろん、海外からも集まっている



株式会社 未来機械

代表者 代表取締役社長 三宅 徹氏
所在地 高松市上林町584-1
電話番号 087-816-5112
<https://miraikikai.jp/>
info@miraikikai.jp



代表取締役社長 三宅 徹氏

令和5年度 若手社員フォローアップ研修 受講者の募集

県内企業の人材育成を支援するため、入社後半年から5年以内の若手社員を対象に、フォローアップ研修を実施します。来年度の新入社員の模範となる先輩社員の育成を目的として開催します。多数の御参加をお待ちしております。

日 時 令和5年11月14日(火)

9:30～16:30 ※昼休憩1時間程度を含む

場 所

香川産業頭脳化センタービル2F
一般研修室(高松市林町2217-15)

対象者

入社後半年から5年以内の若手社員

定 員

24名(申込先着順)

受講料 7,150円(税込)／名

講 師

株式会社ビッグバン 山下 由美子 氏

申込方法

申込フォームからお申し込みください。
申込フォームの利用が困難な方については、
申込書によるFAX等での申し込みも受け付けます。

申込締切

令和5年10月31日(火)17:15
(定員になり次第締め切ります。)
なお、キャンセルは、
令和5年11月6日(月)17:15まで承ります。

申込フォーム



カリキュラム(予定)

I. 自己成長・キャリアアップ

- キャリアの棚卸
- 自身の役割・スキルを考える
- 自ら考えて行動する
- 周囲の協力をいかに得るか

II. コミュニケーション改善

- 社会人のコミュニケーション
- 指示の受け方
- 報告・連絡・相談の仕方
- チームワーク
- 失敗から多くを学ぶ
- フォロワーシップ

III. 仕事の効率化

- 自分自身と業務をマネジメントする
- 業務に必要な時間をスケジュールする
- 隙間時間の有効利用

IV. まとめ

- 研修の振り返り
- 自己成長に向けて明日からどう取り組むかを発表する

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 E-mail.kikaku@kagawa-isf.jp

かがわ産業支援財団 Facebookの紹介

これまでホームページやかがわ産業情報21等で、当財団が実施する事業等の情報発信を行ってきましたが、より多くの方に情報を発信できるよう、Facebookによる情報発信を始めました。

「公益財団法人かがわ産業支援財団Facebookアカウント運用ポリシー」を御確認のうえ、下の二次元コードからページをご覧ください。ぜひフォロー、「いいね!」をお願いします。

公益財団法人かがわ産業支援財団
Facebookアカウント運用ポリシー

<https://www.kagawa-isf.jp/facebook/>



かがわ産業支援財団
Facebook

<https://www.facebook.com/kagawa.isf>



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710 E-mail.kikaku@kagawa-isf.jp

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F・2F
総務課
TEL(087)840-0348 FAX(087)869-3710
施設管理課
TEL(087)869-3700 FAX(087)869-3703
企画情報課
TEL(087)868-9901 FAX(087)869-3710
ファンド事業推進課
TEL(087)868-9903 FAX(087)869-3710

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL(087)840-0391 FAX(087)869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL(087)868-9904 FAX(087)869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16
FROM香川1F
産学官連携推進課・研究開発支援課
TEL(087)840-0338 FAX(087)864-6303

地域共同研究部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-43
RISTかがわ1F
研究管理課・研究開発課
TEL(087)869-3440 FAX(087)869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
知的財産支援課
TEL(087)867-9332 FAX(087)867-9365
知的財産普及課
TEL(087)869-9004 FAX(087)867-9365



この印刷製品はグリーン基準に適合した印刷資材を使用し、
グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。

印刷:香川印刷株式会社